

愛知県議会議員 わたらい克明の

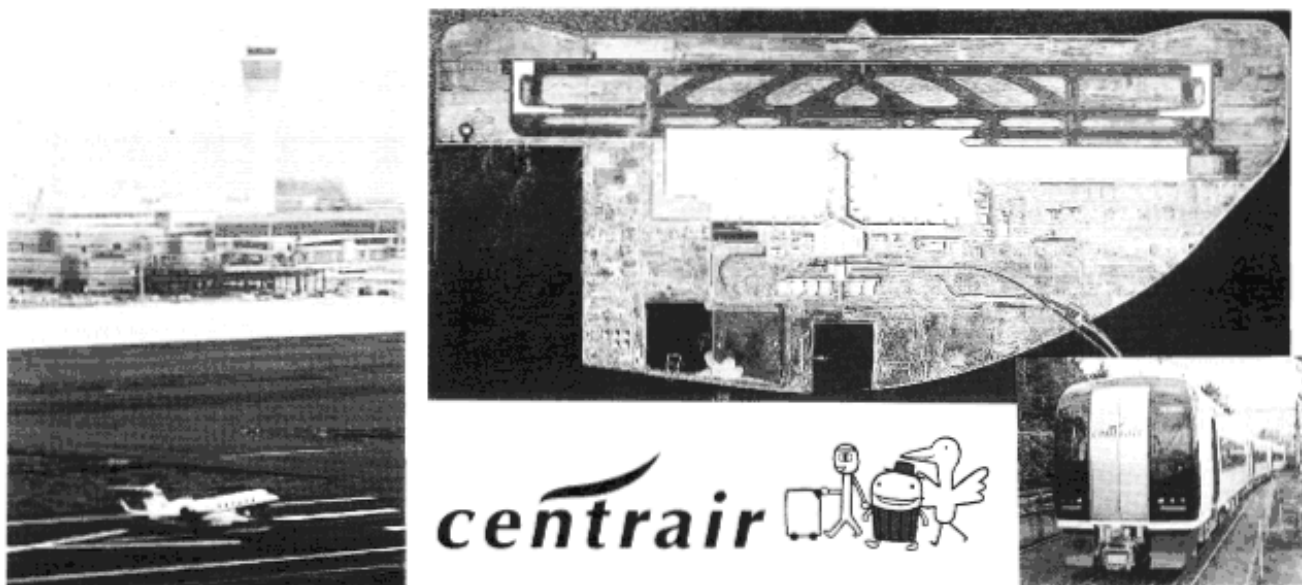
# 県政ジャーナル



2004年 夏号 (第21号)

発行人 わたらい克明事務所  
豊橋市多米東町二丁目20番地の12

## 2+1 政党制、第3党は「要」の存在!



◆国土交通省の飛行検査機が6月24日初めて着陸 ◆「青と白」の清新な配色の空港専用特急車両  
2005年2月17日の開港を目指して建設が大詰めを迎えているセントレア（中部国際空港）

「あらさつ」

愛知県議会議員 渡会 克明

連日の猛暑の中、梅雨明け宣言もなされいよいよ真夏に突入の感があります。皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたびの参院選では、私も公明党に対し皆様方の献身的なご支援をいただき、結果見事に大勝利をさせていただくことができました。心より感謝と御礼を申し上げます。

公明党は、埼玉、東京、大阪の三選挙区で完勝し、比例区では過去最高の得票数八六二万票で八人が当選、合計十一議席を獲得し、定数五減の中で改選議席を一議席上回る大勝利を勝ち取ることができました。

民主党の躍進が伝えられる選挙結果ですが、反政権への受け皿とはもはやない共産党の議席を十一議席吸収したようにも思います。そして選挙を演進するために政策をコロコロ変えた民主党は国民に対して罪を負うことにはならないのでしょうか。

今回の選挙で私たち公明党は第三党としての存在と期待感をいっそう高めたように思います。政策実現の党への信頼と期待だけでなく、二大政党だけでは吸収されない多様な民意を、きちんと吸収してくれる受け皿の政党として、頑張れという期待があったと思います。

これからは、さらに具体的な政策を着実に実現し、公明党に寄せられた皆様方のご期待にこたえていく決意であります。

今後ともどうか皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成十六年七月



# 県議会報告



## 2月定例議会における

### 私の質問と答弁の一部抜粋

三月十一日県議会の平成十六年度予算における議案質疑で、以下の二点について質問を致しました。県議会録画中継が左記アドレスで視聴できます。

<http://www.pref.aichi.jp/kaiki/tyukai/>

### いきいき住宅リフォーム支援事業について

(質問)

高齢社会の到来の中、高齢者の方々が安心して地域で元気に暮らし続けるためには、住まいの見直しが必要となってまいります。

そこで、快適な住まいにするために県は新規事業として、このいきいき住宅リフォーム支援事業を提案されました。それは、保健、医療、福祉、設計、施工の専門家向けの講習を行い、アドバイザーとして登録をし、高齢者の方の住宅リフォームに対し、専門家チームとしてさまざまな角度からアドバイス活動をしてもらう。また、施工のプロのほか、シルバーク世代や日曜ボランティア向けに高齢者の地域居住のための住宅改善技能講習を行い、これも登録をしていただき、知識と技能を持った施工

技能者として活動してもらう。さらには、活動を継続的に進めるために協議会をつくるということまで伺っております。

しかし、その方たちのところへ高齢者からの要望が届かないといけません。そのためには、高齢者の身近なところにそうした専門家・施工チームの方たちのネットワーク組織があることが必要になってまいります。できれば市町村単位ぐらいに地域組織がつけられて、そこから来ていただくという仕組みができればベストではないかと考えます。

そこで、市町村に対してこの事業を紹介し理解し、ぜひ多くの市町村で取り組みを始めてくださることを希望しますが、県としてはどのような形で地域ごとの仕組みづくりを進めようかとされているのかお伺いいたします。

(答弁) 【建設部理事】

この支援事業の中で、育成、登録された住宅リフォームに助言する専門家が高齢者の方々からの要請に的確にこたえていくために、地域ごとの仕組みづくりは重要であると認識しております。

モデル的に幾つかの市町村に協

力していただきました。地域で活動するボランティアグループやNPO法人等と連携し、地域ごとの体制を構築いたします。それらを先導役として、いきいき住宅リフォーム支援事業を全県に広めてまいりますと考えております。

(質問)

高齢者に配慮した住宅改善は、使いやすさ、暮らしやすさと同時に、住宅での事故を防ぎたいということでもあります。住宅内での事故が原因で亡くなる高齢者は、交通事故よりも多いということでもあります。手すりをつけたり段差をなくしたりというバリアフリー化による、住宅内での安全の確保ということが大変重要なことになってまいります。

安全といえは、本議会へ地震防災推進条例が提案されております

が、地震に対する備えも忘れてはなりません。阪神・淡路大震災では、死者の七割の方が住宅の倒壊や家具などの転倒により、その下敷きとなり圧死するという悲劇がありました。木造住宅の耐震改修ということでは、県、市町村の補助事業が進められておりますが、平成十六年度は、県としても昨年の十倍の耐震改修補助を予算化しており、大変うれしく思います。

さて、そうした大がかりな改修も大切ですが、同時に、ちょっとした工夫で身を守ることができるともあります。せつかく住宅リ

フォームというところで高齢者の住宅をリフォームするのであれば、簡単にできる安全化ということで、家具を固定し、転倒を防止する、これをあわせて進めたらどうかと考えます。

このいきいき住宅リフォーム支援事業の中に家具の固定について組み込むことはできますか、お伺いいたします。

(答弁) 【建設部理事】

地震に備えて家具を固定することは、転倒による事故防止対策として大変重要なことでもあります。このため、いきいき住宅リフォーム支援事業を推進していく上で、地域で活動する専門家の方々にもこのような身近な地震対策にも柔軟に対応していただくよう要請してまいります。

(質問)

今までは高齢者の方の話をしてまいりました。身障者を初めとした弱者の方たちもいらっしゃいます。中には、高齢者の方より大変な御家庭もあります。ぜひこういう方たちも包含する形で支援の活動を進めていただきたいのですが、どのようにお考えか、御所見を伺います。

(答弁) 【建設部理事】

この事業は、高齢者の身体機能の低下に応じた住宅改修への支援を中心に考えております。しかしながら、現実にはリフォームを助言する専門家が地域で活動してい

く中で、身体障害者等の方々もバリアフリー改修を要請されることと考えられます。このため、このような要請に対しても十分配慮した活動が進むよう支援してまいりますと考えております。

本日に県民の安全・安心を確保することが第一義であります。財政厳しい折ですけれども、こういう時こそ、このような知恵を絞ったソフトの事業を市町村が取り組みやすい事業として、また県民に喜んでいただけるような事業として実施していただきたいと思っております。そして、ぜひ支援事業が県内のあちこちで定着するよう努力をしていきたいと思います。

(質問)

治安の悪化が叫ばれている昨今、マスキミを初め、本定例議会におきまして、殺人、強盗等の凶悪犯や自動車盗、車上ねらい等の街頭犯罪の増加が幾度となく取り上げられております。

### 性犯罪被害者女性の相談体制等について

(質問)

しかし、性犯罪被害についてはどうでしょうか。昨年、平成十五年中でありますけれども、強姦の被害認知件数は百六十六件、強姦までには至らない強制わいせつの被害認知件数にあっては三百七十八件もあります。平成六年には強姦が三十八件、強制わいせつが九

件、強姦が三十八件、強制わいせつが九

十四件でした。十年の間で強姦が約四・三倍、強制わいせつが約四倍にも増加しています。この統計は、安全・安心を自指している我が愛知県内の実情であります。さらに驚くべきことは、この統計は警察が性犯罪被害を認知した件数つまり、被害者が届け出て、警察が事件を把握した件数であります。

車を盗まれた、泥棒に入られた、殴られたなどという被害は、だれもがすぐに警察へ届け出るために現実の被害数と統計上の数字には余り隔たりはないでしょう。しかし、性犯罪被害は、被害者のほとんどが女性であるという性質上、恥ずかしくて誰にも言えない、どうしてよいかわからないなどという理由で、誰にも話ができずに、泣き寝入りをするケースが相当あるのではないかと思います。

性犯罪の犯人は、捕まるまで何度でも同じことを繰り返すと、何回かあります。実際に性犯罪の犯人が逮捕されたという報道を見ると、ほかにも余罪が何件もある、こういう言葉で必ず締めくくられております。

女性は恥ずかしくて警察に届けないだろうと考え、幾度も犯行に及んでいた犯人がいるとも聞きます。恥ずかしいから警察に届け出ない、届け出ないから警察が事件を把握できない、警察が事件を把握できないから相変わらず被害が増える、悪循環の図式ができ上が

っているわけでありませう。

今回、女性団体の方たちからの御相談がありました。その一人の女性は、性犯罪の被害を受けられ、恥ずかしかつたけれども、これ以上自分と同じような被害者が増えてはいけない、このように思い、勇気を振り絞って警察へ相談に行かれたそうでありませう。相談に乗ってくださった警察官はとも親切に対応をいただいたそうでありませうけれども、いろいろな被害に遭った際の状況を細かく聞かれるうちに、警察官が男性だったために、やはり恥ずかしくなってしまう、途中で帰ることこそしなかったものの、今度被害に遭ったとしても、二度と警察に相談には行きたくない、このように思われたそうでありませう。

女性にとつては、たとえ相談相手が警察官であっても、男性に話しづらいということでありませう。つまり、男性の警察官にこれ聞かれることが恥ずかしいから性犯罪被害に遭っても警察に届け出ができないという女性が多かりいのではないかと思います。

では、今後、憎むべき性犯罪被害を撲滅していくためにはどうすればいいのか。それには、警察が被害の実態を正確に把握し、的確に対応していくことが重要であると考えます。そのためには、被害女性がためらうことなく相談ができる窓口の整備が必要である

と考えます。

医療の分野でも、最近、女性医師による女性のための女性専門外来の設置を求めた声が大きくなり、私も本会議で取り上げたことがあります。警察の分野でも、女性による女性のための相談窓口の整備が必要であると考えますが、いかがでしょうか。

そこで、警察本部長にお尋ねします。強姦、強制わいせつ、痴漢など性犯罪だけでなく、ストーカー、DVなどのすべての女性被害者がためらうことなく、安心して相談することができる女性による女性のための相談窓口、その重要性についてどのように認識され、現在どのように整備されているのでしょうか。また、今後はどのように整備をしていられるつもりなのか、お伺いいたします。

(答弁) 警察本部長

この性犯罪につきましては、議員お示しのように、実際に警察に届け出られている数以上の、暗数と申しますか、それは相当数あると思えます。これは、性犯罪で犯人を捕まえた場合に、その取り調べから多くの余罪が出てくるわけですから、その中のかなりの部分が届け出がされていないケースがございます。また、その犯人は、警察に捕まるまではなかなかその犯行をやめないと、ある犯人は、捕まったことによつて、逆に捕まってもよかつたか、もし捕まら

なきや自分はずっとやり続けていると、こういう犯人までいる次第であります。

こういった被害の状況を本場に正確な把握をし、できれば被害の届け出あるいは告訴していただくためには、やはり女性が安心して相談するような窓口というのが大変重要だろうというふうに考えております。そのために、警察本部の方に女性のための女性の職員による相談窓口というのを設けております。一つは、性犯罪としては、捜査一課にレディースホットラインというのを設けております。ここには女性警察官三名を配置して、電話なりあるいは直接面接による相談を受け付けております。また、ストーカーにつきましては、生活安全課にストーカー一〇番というものを設けております。また、列車内における痴漢などにつきましては、鉄道警察隊にふれあいコールというものを設けております。また、こういった被害全般についての心のケアということから、住民サービス課の方にハートフルラインという、ここには臨床心理士の資格を持ちました女性職員を配置して、そういった精神的なケアを行うようにしております。

これはいずれも警察本部に設置をいたしておきまして、警察署におきましては専用の窓口というのはないわけでありませうけれども、ただ、こういった女性からの相談

に感じられるように、警察署に配置しております女性警察官に研修を行っておりまして、今後ともこれらの研修を充実させて、十分な相談に対応できるようにしてまいります。

(要旨) 女性警察官による女性専門の相談窓口が既に警察本部内にあることに、大変心強く思いました。ただ、性犯罪被害を受けられて一人で悩んでみえる方は、この警察本部に行けるといふか、名古屋市内だけではなく、県内の尾張部にも、三河部にもたくさんお見えになると思っています。女性のための相談窓口の設置も治安回復の一手段として考えていただき、県内各地域の女性が安心して相談に行けるよう、初めは七カ所(中・中村・千種・南・一宮・岡崎・豊橋)各ブロックの警察署中心に、女性警察官による女性専門の相談窓口を設置していただきたいと思

います。

また、既に設置されている相談窓口については、どれだけの女性がかかっているか、疑問に思っています。せっかくの相談窓口が設置してあるわけでありませうから、多くの女性だれもが知り得るように、積極的にPRに努めていただきたいと思



# 愛地球博

Exposition of Global Harmony

開催期間：2005年3月25日～9月25日

◆財2005年日本国際博覧会協会  
http://www.expo2005.or.jp

## 愛・地球博 記念貨幣を発行

政府は閣議で、2005年3月から始まる愛知万博の記念貨幣の発行(2005年2月)を決めた。額面1万円の金貨(写真)、同1千円の銀貨、同5百円のニッケル黄銅貨の三種類で、いずれも地球をあしらったデザインにした。金貨と銀貨は、販売価格が額面価格を上回る「プレミアム型」で、それぞれ七万枚発行する。販売価格は未定。5百円のニッケル黄銅貨は、金融機関の窓口などで額面価格で引き換えることができる。



122カ国6機関参加

# 愛知万博だより

★7月1日より入場券引換開始

★第2期前売入場券  
9月30日まで15%割引

## 愛・地球博開会式に 金シャチ2体が出席

「名古屋のシンボルに、世界の人たちを迎えてもらいたい」と博覧会協会の要請に、名古屋市が応えた。

愛・地球博(愛知万博)の開会式(長久手会場)に、名古屋城の金のしゃちほこが、雄雌の2体そろって“出席”することが決まった。戦後の1959年に完成した現在の2代目金シャチが、城外で展示されるのは初めてである。



お早めに!



## 知っていますか?

**公明党が実現!  
児童手当の大幅拡充!**  
児童手当が  
小学校3年生(修了)まで  
拡充されました

公明党は、連立政権に参加(平成11年10月)以来、「児童手当の拡充」に全力で取り組んできました。これまで3回にわたる拡充で、約4年半で支給対象児童数は241万人から936万人に、約4倍に拡大しました。

第1子月額5,000円・第2子月額5,000円・第3子以降月額1万円が、  
4月分までさかのぼって支給されます。

9月30日までの受付分は

■現在まで児童手当を受けておられる保護者の方  
「児童手当現況届」を提出してください。

■平成16年度 小学校2・3年生児童等の保護者の方  
「認定請求」「額改訂認定請求」を添付書類と提出してください。

★詳しくは市区町村窓口にお問い合わせください。



## 《豆知識》 女性専門の相談窓口

- 性犯罪・ストーカー  
愛知県警察本部  
ストーカー110番  
(052)961-0888  
犯罪被害相談レディースホットライン  
0120-677830  
痴漢被害相談ふれあいコール  
(052)561-0184  
ハートフルライン(こころの悩み相談)  
(052)954-8897  
豊橋警察署・生活安全課  
(0532)54-0110
- 人権相談・差別・セクハラ・健康  
愛知県女性総合センター(ウィルあいち)  
相談コーナー  
(052)962-2614
- よろず相談  
豊橋市安全生活課・市民相談  
(0532)51-2300

## 暮らしの相談110番

■自宅 ■〒440-0028  
豊橋市多米東町二丁目20番地の12  
電話(0532)62-9633 FAX(0532)64-4368  
E-mail katsuki@watarai.org

■県庁 ■〒460-0001  
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号  
電話(052)961-2111 FAX(052)961-2013  
URL http://www.watarai.org/

○公明新聞購読のご案内○  
購読料1カ月 1,835円

○後援会入会のご案内○  
http://www.watarai.org/supporter/

## 公明党法律相談(予約制)

9月10日(金) 9月24日(金)  
10月8日(金) 10月22日(金)  
11月12日(金) 11月26日(金)  
午後6時30分～豊橋市民文化会館  
★ご希望の方は『わたらい』まで

新聞購読、後援会入会希望の方は「わたらい」までご連絡ください。

◆ 県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。また、法律・税務相談等もお気軽に ◆